

つくば市記者会 御中

発信日：令和7年（2025年）8月12日（火）

発信元：つくば市 政策イノベーション部 科学技術戦略課

■取材依頼 □周知依頼 □募集告知 □その他

科学の楽しさを体験する特別な夏の1日

つくばSCIENCE DAYを開催します



小学4年生から高校2年生を対象に「科学」を題材にした特別ワークショップイベント「つくばSCIENCE DAY」を開催します。

身近な「なんで？」や「やってみよう！」から始まる「自分だけの探究」を応援するイベントです。研究の最前線で活躍する9名の研究者たちがナビゲーターとなり、子どもたちの問いに寄り添い、一緒に考え、実験し、未来の可能性を広げる様々なワークショップを行います。※参加者の申し込みは終了しています。

【日時】 令和7年8月17日（日）

午前の部： 9:30～12:30（小学4～6年生対象）

午後の部： 13:30～16:30（中学1年生～高校2年生対象）

【場所】 つくば市役所 本庁舎2階会議室およびコミュニティ棟1階会議室

【内容】

ワークショップのテーマ

- ・光の不思議を体験しよう！
- ・宇宙線を数えてみよう！
- ・3Dプリンターを通じて、生物を創造しよう！！等

※詳細は、別添のチラシをご参照ください。



【取材方法】

取材をご希望の場合は、8月15日（金）12:00までに問合せ先まで御連絡ください。

- 午前の部 集合10:15 取材10:30～12:30（場所：本庁舎2階会議室201）
- 午後の部 集合14:15 取材14:30～15:30（場所：本庁舎2階会議室201）

午前の部 小4-6年生

定員：各20名程度

1コマ(約2.5時間)で「研究者のように探究する」体験ができる特別ワークショップ!

光の不思議を体験しよう!



坂元 眞一氏
サイエンス・メディア・ラボ

東京大学大学院修了理学博士。専門は高エネルギー物理学(素粒子実験)。英国ラザフォード・アップルトン研究所、米国ラトガース大学、東京大学理学部、高エネルギー加速器研究機構に在籍、主に反陽子やミュオンについて研究。2002年日本原子力研究所(現日本原子力研究開発機構)に移り、大強度陽子加速器施設 J-PARC の建設を推進。施設完成後は科学の啓発活動に専念。退職後、つくばエキスポセンターのボランティア・インストラクターを務めるとともに、フリーの科学コミュニケーターとして活躍中

昆虫で探究してみよう!



砂村 栄力氏
国立研究開発法人 森林研究・整備機構
森林総合研究所 主任研究員
東京大学 非常勤講師

子どもの頃から生き物に興味があり、大学ではアルゼンチンアリという外来種について研究。卒業後、メーカーでの殺虫剤の研究開発を経て、2019年からつくばの森林総合研究所で森林や樹木の害虫に関連する研究を行う。仕事では害虫を駆除しているが、害虫に対して敬意や愛着も感じており、それをアートとして表現する試みも行っている。

送粉昆虫ってどんな虫?

~マルハナバチの巣と働きバチを観察しよう~



中村 祥子氏
国立研究開発法人 森林研究・整備機構
森林総合研究所 多摩森林科学園

埼玉県出身。2007年帯広畜産大学畜産学部卒業。同年理工系図書出版社へ入社、08年退社。帯広畜産大学研究員を経て10年北海道大学大学院環境科学院修士課程入学、12年修了、同年博士課程入学。13年に休学し学術雑誌の編集職を経て、17年北海道大学大学院環境科学院にて博士(環境科学)の学位取得。同年、森林総合研究所の森林昆虫研究領域(つくば)でポストク雇用の後、21年10月、同研究所の支所である多摩森林科学園にて主任研究員として着任。都市近郊林における花粉媒介サービスに関する研究を行っている。

嗅げば嗅ぐほど面白い香りの秘密



森 綾香氏
株式会社バスクリン製品開発部
素材開発グループ所属 調香師

高校の化学の授業がきっかけで香料化合物に興味を持ち、香りの世界に足を踏み入れる。香りは生活のいたるところに存在し、香りがあることで「おいしい」や「危険」を察知することもできる切っても切り離せないもの。また香りの効果は多岐にわたり、リラックス効果、集中力の向上など様々な効果がある。さらに記憶や感情と深く結びついているため、同じ香りでも人によって感じるものは様々。身近な存在であるからこそ、日用品を通して少しでも人々の生活が豊かになるよう、日々香りを調査している。

午後の部 中1-高2年生

定員：各20名程度

新素材を通じて世界を救う!



桂原 充宏氏
国立研究開発法人 物質・材料研究機構(NIMS)
高分子・バイオ材料研究センター 副センター長
つくば科学教育マスター

スマートポリマーと呼ばれる特殊な素材を用いて、途上国や被災地でも利用できる医療デバイスの開発を行っている。子どもたちへ科学のすこさ・面白さを伝えるため、ナノ戦隊スマボレンジャーの活動も行う。

宇宙線を数えてみよう!



高橋 将太氏
名古屋大学 素粒子宇宙起源研究所
広報室 特任助教
つくば科学教育マスター

高エネルギー加速器研究機構(KEK)で活躍中の科学コミュニケーター。素粒子、原子核、宇宙、加速器をキーワードに、つくばのみんなを基礎科学の虜にし、世界平和を目論む科学コミュニケーター。トレードマークは笑顔!



三原 智氏
高エネルギー加速器研究機構 教授

1997年 京都大学理学研究科博士課程単位取得退学
1997年 東京大学素粒子物理国際研究センター 助手/のち助教
1998年 東京大学理学博士
2008年 高エネルギー加速器研究機構准教授
2014年 高エネルギー加速器研究機構教授
2015-2021年 文部科学省科学官(兼業)

eスポーツで仲間と、世界と、科学とつながろう!



松井 崇氏
筑波大学 体育系・准教授

2007年、筑波大学体育専門学群卒業。2012年、筑波大学大学院人間総合科学研究科修了。博士(体育科学)。柔道五段。2012年より、学振特別研究員 SPD、スペイン・カハール研究所・客員助教を経て「スポーツ神経生物学」を推進。2015年、筑波大学体育系運動生化学領域に着任。2017年より、全日本柔道連盟科学研究部・基礎研究部門で「柔道生理学」を展開。2020年より、筑波大学スポーツイノベーション開発研究センター・スポーツIT分野にて「eスポーツ科学」を先導。2022年より、筑波大学健康ライフスタイル開発研究センター・副センター長として「老若男女の健康スポーツライフの創成」に取り組む。

3Dプリンターを通じて、生物を創造しよう!!



森 健人氏
路上博物館 館長
博士(理学)

コスプレの衣装づくりのための資料集めが高じて解剖学、博物学の道に進む。博物館標本がもって創作のための資料として活用される世界を目指す。博物館標本の楽しさしてもらおうべく、標本の3Dデータ作成、そして、作ったデータから3Dプリントレプリカを作成し、路上で展示を行う「路上博物館」の活動を行っている。